

## 感染予防チェックリスト【入所・居住系】

	確認事項	チェック	ポイント
基本	感染制御の基本(病原体を①持ち込まない、②持ち出さない、③拡げない)を全職員へ理解させていますか	<input type="checkbox"/>	感染症は3つの要因(感染源、感染経路、宿主)が全て揃うことで感染します。
	厚生労働省で開発した「新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCONA)」の活用について、職員に周知していますか	<input type="checkbox"/>	本アプリは利用者が増えることで感染防止の効果が高くなることが期待されています。面会者、業者等の施設内に入出入りする者にも周知しましょう。
① 病原体を施設に持ち込まない	全職員に対し出勤前に体温を計測し、発熱等の症状がある場合は出勤しないことを徹底していますか	<input type="checkbox"/>	解熱後、少なくとも24時間以上が経過し、咳などの呼吸器症状が改善するまで出勤させてはいけません。
	感染が疑われる職員がいる場合、管理者は協力医療機関や地域で身近な医療機関、受診・相談センター等に報告し、指示を受けていますか	<input type="checkbox"/>	発熱、のどの痛み、味覚や嗅覚の低下、せきなどの風邪の症状、息苦しさ、強いだるさがあるなど、早期発見と早期対応が重要。
	全職員に対し職場はもとより、職場外でも、「3つの密」を避けることを徹底していますか	<input type="checkbox"/>	「換気が悪い密閉空間」、「多数が集まる密集場所」、「間近で会話や発声する密接場面」を避けましょう。
	面会や業者との物品の受け渡し等は限られた場所で行っていますか	<input type="checkbox"/>	マスク着用を含む咳エチケットなどの注意事項を、玄関に張り紙などで周知します。
	面会者等が施設内に入る場合は、手洗い、消毒、マスク着用、体温の計測、行動の履歴等の記録をしてもらっていますか	<input type="checkbox"/>	面会を制限する場合は、テレビ電話等を活用し、入居者と家族のストレスを和らげましょう。
② 病原体を隣の人に持ち出さない	石鹼による十分な手洗い、アルコール消毒、マスク着用を徹底していますか	<input type="checkbox"/>	「1ケア1手洗い」は感染対策の基本です。石鹼はウイルスの構造を壊します。
	日頃から入居者の健康状態の変化、日常との違いに注意していますか	<input type="checkbox"/>	クラスターが発生した施設では、発熱等の症状があったにもかかわらず、何日も感染を疑っていなかった、との報告があります。
	血液等の体液や嘔吐物、排泄物に触れる可能性がある場合に、ディスポ手袋やエプロン、ゴーグル又はフェイスシールドを着用してケアを行っていますか	<input type="checkbox"/>	汚染した手袋を着用したまま他のケアを続けたり、別の入居者へのケアをしてはいけません。また、手袋を脱ぐ時に外側を触らない及び手洗い、廃棄にも注意が必要です。
	食事前後や排泄後に、石鹼と流水による手洗いや消毒効果のあるウェットティッシュでのふき取り等の入居者支援をしていますか	<input type="checkbox"/>	衛生用品が不足することを想定し、代替品を決めておきましょう。
③ 病原体を施設内に拡げない	感染症対策マニュアル等の更新や、専門家等による研修を行っていますか	<input type="checkbox"/>	研修では感染者の発生を想定し、初動対応、防護服等の着脱のシミュレーション等を行います。
	感染防止に向け、職員間での情報共有を密にし、全職員が連携して取組を進めていますか	<input type="checkbox"/>	複数施設を行き来する職員や利用者がクラスターの原因となった施設が複数あります。
	各所の換気や湿式清掃を実施し、手すり、ドアノブ等の消毒を行っていますか	<input type="checkbox"/>	共有のキーボード、マウス、タブレット端末を介しての感染拡大が報告されています。
	研修、会議、リハビリなどの際、時間帯をずらす、同じ場所での人数を減らす、マスクの着用又は2m程度の距離確保や定期的な換気を行っていますか	<input type="checkbox"/>	飛沫感染にソーシャル・ディスタンスは有効ですが、心の距離は離れないようにしましょう。
	面会者や施設内に入出入りした者(氏名、日時、連絡先)や入居者のケア記録(体温、血中酸素濃度、症状等)、勤務表等がありますか	<input type="checkbox"/>	保健所の積極的疫学調査への協力にも有効です。

## 感染予防チェックリスト【短期・通所系】

	確認事項	チェック	ポイント
基本	感染制御の基本(病原体を①持ち込まない、②持ち出さない、③拡げない)を全職員へ理解させていますか	<input type="checkbox"/>	感染症は3つの要因(感染源、感染経路、宿主)が全て揃うことで感染します。
	厚生労働省で開発した「新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)」の活用について、職員に周知していますか	<input type="checkbox"/>	本アプリは利用者が増えることで感染防止の効果が高くなることが期待されています。面会者、業者等の施設内に入出入りする者にも周知しましょう。
① 病原体を施設に持ち込まない	全職員に対し出勤前に体温を計測し、発熱等の症状がある場合は出勤しないことを徹底していますか	<input type="checkbox"/>	解熱後、少なくとも24時間以上が経過し、咳などの呼吸器症状が改善するまで出勤させてはいけません。
	利用者や家族に対し送迎前に体温を計測してもらい、発熱等の症状がある場合は利用を断ることを徹底していますか	<input type="checkbox"/>	発熱、のどの痛み、味覚や嗅覚の低下、せきなどの風邪の症状、息苦しさ、強いだるさがあるなど、早期発見と早期対応が重要。
	利用を断った場合、居宅介護支援事業所等に情報提供を行い、代替サービスの検討を行っていますか	<input type="checkbox"/>	必要に応じ訪問介護などの提供を検討してもらいます。
	全職員に対し職場はもとより、職場外でも、「3つの密」を避けることを徹底していますか	<input type="checkbox"/>	「換気が悪い密閉空間」、「多数が集まる密集場所」、「間近で会話や発声する密接場面」を避けましょう。
	業者との物品の受け渡し等は限られた場所で行うほか、内部に立ち入る場合は、手洗い、消毒、マスク着用や体温の計測をしてもらっていますか	<input type="checkbox"/>	マスク着用を含む咳エチケットを玄関に張り紙などで周知します。
② 病原体を隣の人に持ち出さない	石鹸による十分な手洗い、アルコール消毒、マスク着用を徹底していますか	<input type="checkbox"/>	「1ケア1手洗い」は感染対策の基本です。石鹸はウイルスの構造を壊します。
	日頃から利用者の健康状態の変化、日常との違いに注意していますか	<input type="checkbox"/>	クラスターが発生した施設では、発熱等の症状があったにもかかわらず、何日も感染を疑っていなかった、との報告があります。
	食事前後や排泄後に、石鹸と流水による手洗いや消毒効果のあるウェットティッシュでのふき取り等の入居者支援をしていますか	<input type="checkbox"/>	衛生用品が不足することを想定し、代替品を決めておきましょう。
	血液等の体液や嘔吐物、排泄物に触れる可能性がある場合に、ディスポ手袋やエプロン、ゴーグル又はフェイスシールドを着用してケアを行っていますか	<input type="checkbox"/>	汚染した手袋を着用したまま他のケアを続けたり、別の入居者へのケアをしてはいけません。また、手袋を脱ぐ時に外側を触らない及び手洗い、廃棄にも注意が必要です。
③ 病原体を施設内に拡げない	感染症対策マニュアル等の更新や、専門家等による研修を行っていますか	<input type="checkbox"/>	研修では感染者の発生を想定し、初動対応、防護服等の着脱のシミュレーション等を行います。
	感染防止に向け、職員間での情報共有を密にし、全職員が連携して取組を進めていますか	<input type="checkbox"/>	複数施設を行き来する職員や利用者がクラスターの原因となった施設が複数あります。
	送迎時や各所の換気や湿式清掃を実施し、利用者の接触頻度の高い手すり、ドアノブ等の消毒を行っていますか	<input type="checkbox"/>	共有のキーボード、マウス、タブレット端末を介しての感染拡大が報告されています。
	研修、会議、リハビリなどの際、時間帯をずらす、同じ場所での人数を減らす、マスクの着用又は2m程度の距離確保や定期的な換気を行っていますか	<input type="checkbox"/>	飛沫感染にソーシャル・ディスタンスは有効ですが、心の距離は離れないようにしましょう。
	面会者や施設内に入出入りした者(氏名、日時、連絡先)や入居者のケア記録(体温、血中酸素濃度、症状等)、勤務表等がありますか	<input type="checkbox"/>	保健所の積極的疫学調査への協力にも有効です。

## 感染予防チェックリスト【訪問系】

	確認事項	チェック	ポイント
基本	感染制御の基本(病原体を①持ち込まない、②持ち出さない、③拡げない)を全職員へ理解させていますか	<input type="checkbox"/>	感染症は3つの要因(感染源、感染経路、宿主)が全て揃うことで感染します。
	厚生労働省で開発した「新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCONA)」の活用について、職員に周知していますか	<input type="checkbox"/>	本アプリは利用者が増えることで感染防止の効果が高くなることが期待されています。面会者、業者等の施設内に入出入りする者にも周知しましょう。
① 病原体を事業所に持ち込まない	出勤前に体温を計測し、発熱等の症状がある場合は出勤しないことを全職員に徹底していますか	<input type="checkbox"/>	解熱後、少なくとも24時間以上が経過し、咳などの呼吸器症状が改善するまで出勤させてはいけません。
	サービス提供以前に、利用者に体温を計測してもらい、発熱等の症状がある場合は相談又は受診を促していますか	<input type="checkbox"/>	利用者に発熱が認められる場合は、ケアマネと連携し、サービスの必要性を再度検討し、感染防止策を徹底の上、サービス提供を継続します。
	発熱が認められる利用者へのサービス提供に当たって、手洗い、マスク・エプロンの着用、必要時の手袋の着用などを徹底していますか	<input type="checkbox"/>	可能な限り担当の専任化や訪問を最後にする等の対応を行います。
	職場はもとより、職場外でも、「3つの密」を避けることを全職員に徹底していますか	<input type="checkbox"/>	「換気が悪い密閉空間」、「多数が集まる密集場所」、「間近で会話や発声する密接場面」を避けましょう。
② 病原体を隣の人に持ち出さない	石鹸による十分な手洗い、アルコール消毒、マスク着用を徹底していますか	<input type="checkbox"/>	「1ケア1手洗い」は感染対策の基本です。石鹸はウイルスの構造を壊します。
	日頃から利用者の健康状態の変化、日常との違いに注意していますか	<input type="checkbox"/>	発熱、のどの痛み、味覚や嗅覚の低下、せきなどの風邪の症状、息苦しさ、強いだるさがあるなど、早期発見と早期対応が重要。
	食事前後や排泄後に、石鹸と流水による手洗いや消毒効果のあるウェットティッシュでのふき取り等の入居者支援をしていますか	<input type="checkbox"/>	衛生用品が不足することを想定し、代替品を決めておきましょう。
	血液等の体液や嘔吐物、排泄物に触れる可能性がある場合に、ディスポ手袋やエプロン、ゴーグル又はフェイスシールドを着用してケアを行っていますか	<input type="checkbox"/>	手袋の外側を触らないように脱いだ後、必ず手指消毒を行います。汚染した手袋やガウンは袋に密閉して持ち返ります。
③ 病原体を事業所内に拡げない	感染症対策マニュアル等の更新や、専門家等による研修を行っていますか	<input type="checkbox"/>	研修では感染者の発生を想定し、初動対応、防護服等の着脱のシミュレーション等を行います。
	感染防止に向け、職員間での情報共有を密にし、全職員が連携して取組を進めていますか	<input type="checkbox"/>	訪問職員がクラスターの原因となった事例があります。
	訪問時には、部屋の換気を徹底していますか。清掃を行う場合には湿式清掃を実施し、手すり、ドアノブ等の消毒を行っていますか	<input type="checkbox"/>	共有のタブレット端末を介しての感染拡大が報告されています。
	研修、打合せなどの際、時間帯をずらす、同じ場所での人数を減らす、マスクの着用又は2m程度の距離確保や定期的な換気を行っていますか	<input type="checkbox"/>	飛沫感染にソーシャル・ディスタンスは有効ですが、心の距離は離れないようにしましょう。
	利用者のケア記録(体温、症状等)、勤務表等がありますか	<input type="checkbox"/>	保健所の積極的疫学調査への協力にも有効です。